

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山高島校			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様にご満足いただける支援プログラムの提供	お子様お一人お一人のニーズに合わせたプログラムの作成	発達検査の結果などを活用してお子様の課題を客観的に分析し、より良い支援の提供を行っていく。
2	お子様や保護者様に親身に寄り添った支援や情報の提供	関係機関や他事業所等との積極的な連携	さらに関係機関連携を進めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携の薄さ	地域の方を対象とした活動が少ない	岡山市内の校舎と合同で行うイベントの実施、およびその周知をより積極的に行う。
2	各種マニュアルや防災訓練など、校舎内の取り組みに対するご利用者様への周知が不十分	教室内の掲示は行っているが、十分でなかったり、分かりにくかったりしている。	室内の掲示をより見やすくするように工夫する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 60

回収数 30

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	10	0	0	狭いとは感じる	粗大運動など、活動内容によっては、支援ブースだけでは狭い場合もあります。共用スペースの活用など工夫しながら、引き続き支援を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	3	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	8	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	6	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	0	0	0	毎回、こどもの状態について丁寧にヒアリングしていただきます。	支援後のフィードバックを丁寧に行うとともに、最近の学校園やご家庭での様子などもお聞きするように心がけております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	0	0	1	固定的な練習を多めにしたほうがいいです。内容が頻繁に変わると、子どもはどう対応していいかわからなくなることがあります。 考え方が比較的固定的な子どもの場合は、ひとつをしっかりと身につけてから、次に進むほうが良いです。ある程度は常に固定した内容を保ちつつ、毎回少しずつ新しい要素を加えていく、という方法も良いと思います。	保護者様のニーズをお聞きし、似た内容を繰り返し行うのが良いか、または様々な内容を幅広く行うのが良いかを判断した上で支援を行っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	7	9	6	必要性を感じない	
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	11	0	5	ペアトレではないが、家族も参加できるイベントが開催されている	事業所内相談などにおいて、それを行うことで保護者様にとってどんな意義があるのかをお伝えするようにしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	0	0	担当の先生方は、大変親身になってお話ししていただきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	0	1		

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1	0	0	いつも話をいろいろ聞いていただきありがとうございます！！	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	4	3	5	必要性を感じない 以前より保護者同士の交流が増えて嬉しいです。	ご家族同士でお話ができる機会をイベント内で行ったことがあります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	5	1	9		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	5	0	0		個人情報への配慮をより高め、安全への整備を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	5	1	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	8	1	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	4	0	4	カギがかけられてはないのは少し心配ではあります	支援中、日常的に玄関を施錠することについては、療育の観点では、お子様の行動の制限、広義での身体拘束に該当する場合があります。お子様の安全への配慮は今後も行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	4	0	7		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	6	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0	<p>駐車場を改善していただきたいです。</p> <p>支援対象児童が幼児であったり、兄弟がまだ小さい子などで一緒に教室まで上がらないといけない場合、車を駐車してからでないと身動きがとれません。</p> <p>支援の時間は○時00分～○時45分、○時45分からフィードバックと認識しております。</p> <p>開始の時間に間に合うよう5分～10分前には到着するようにしています。すると当然前の時間の方のフィードバックの時間なので、前の時間の支援の組数によっては駐車スペースが空いていない、となります。</p> <p>必ず前の時間の方の支援及びフィードバックが終わり、55分頃までに駐車場から出て頂けるのであれば問題はないですが、次の支援時間を過ぎても駐車場が空かないことが多々あります。（時によっては15分くらいまで空かないこともあります）</p> <p>また同じ時間の支援の組数が4組になると物理的に駐車スペースが足りないことがあります。</p> <p>もちろん利用者側も協力や配慮をしながら利用することは必要不可欠と思いますが、</p> <p>前の方の支援及びフィードバックの終了時間から次の支援開始時間まで10分程空けたり、駐車場を広くする(先生たちの駐車スペース利用の見直しを含めて)、支援は00分～45分、フィードバックは45分～55分まで、など細かい時間の明確化、駐車スペース(どこに車を止めるのか)の明確化など、何かしらの対策を望みます。</p>	<p>駐車場内に目印を設置したりラインを引いたりするなど、お車で来所された方がどこに駐車すれば良いかをより分かりやすくしていきます。また、支援の時間やフィードバックの時間が必要以上に長くなることのないように職員全員が意識し、よりスムーズに入れ替わりができるように努めています。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」岡山高島校				公表日	2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		職員のスペースは床に線を引き、視覚的にわかるようにしています。 パーティションでブースを仕切っている。	同時に4支援以上行う場合は支援スペースの確保や駐車場に留意する必要あり	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		事前に計画的に配置しています。 基本的に、子ども1人に対して、職員1人以上で対応できている。	もう一名指導員が居ればFB中の見守りがしっかりできると思われる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		パーティションを活用しています。 カラーテープなどで分かりやすく構造化している。	1人ひとりに合わせてより構造化していけるとよい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、掃除を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションを活用しています。 必要に応じて空いたブースをクールダウンスペースにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		計画的に実施しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		計画的に実施しています。 問題や要望があった場合は、職員全員で話し合い、改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		計画的に実施しています。 定期的にミーティングが行われている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		他校舎から職員を招き、社内監査を実施しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		計画的に実施しています。 毎月、様々な種類の研修を受けている。 内部、外部研修が行われている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		計画的に実施しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画的に実施しています。 アセスメントシートの更新を行っている。	発達検査の結果など活用してより客観的な分析をすることができると良い	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		難しい内容は、他校舎の指導員にも相談しています。 子どもの様子や成長、課題などについて話す時間を設けている。 指導員と児発管でモニタリングを行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		朝礼で支援の内容を共有しています。 計画に沿ってプログラムの作成を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		WISCや新版K式、FIMの項目を意識し、アセスメントを行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインはすぐに閲覧できるようにしています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		計画的に実施しています。 校舎内で情報共有を行えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		複数の担当で介入するようにしています。 活動プログラムが固定化して、子どもが飽きることがないよう、同じ内容でも提示の仕方をかえたり、新しいものを積極的に取り入れたりと工夫している。 毎支援ごとにプログラムを立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		朝礼で状況を把握するようにしています。 異年齢で集まってイベントも行っている。 毎月一回イベントを行い、集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼で情報共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了後、話をするようにしています。 毎朝、朝礼で共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の状況を確認しています。 支援内容や様子について、毎回記録を書いている。 期限内に記録を書くことを意識している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画的に実施しています。 全利用者モニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		計画的に実施しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		意識できています。 子どもが選択できるような、幅のある活動を行うこともある。 自分で選択できるよう質問の聞き方を変えたり、選択肢を提示している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		次の世代の育成も考えながら、参画しています。 基本的には、管理者や児発管、担当指導員の中から、1、2名参画している。 担当指導員や支援に関わる者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		実施できています。 必要に応じて学校連携や病院と連携を行っている。	まだ不十分
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様から聞き取りを行っています。 送迎は行っていない。 学校に見学に行き、先生と情報共有は行うこともある。中高生はスケジュールを自分で管理するため、学校の予定表を一部もらっている。	不十分
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		定期的実施しています。 必要に応じて保育所や幼稚園、認定こども園に行き連携を行っている。	放デイから入ってきた児に関しては特にできていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		そのような場面があれば、情報提供を実施しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		さらなる連携を目指します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		定期的にイベントを開催しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		計画的に参加しています。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後、毎回フィードバックを行っている。 家庭や学校での様子もお聞きしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様へのフィードバックの時間を確保しています。 校内で行っているイベントに保護者の方にも参加していただき、活動の中でペアレント・トレーニングを行っている。	ハナミズキの会の講演会などは教室に掲示しているが、不十分だとは思う
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		保護者様へのフィードバックの時間を確保しています。 基本的に、管理者や児発管から説明を行っている。 支援プログラムはフィードバックの際に説明を行っている。	あまり分かっていない保護者もいるため不十分ということだとは思う
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様と会話をする時間を確保しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画の説明を行い、サインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内相談として実施しています。フィードバックの時や、必要に応じて事業所内相談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		定期的にイベントを企画しています。 校舎内で実施するイベントの際に保護者会を実施したり、ごきょうだいにも参加していただいている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所内相談として実施しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログ、LINE、インスタグラムを活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ブログの記事や写真の掲載はダブルチェックを行っています 個人情報関連のものは、鍵付きのロッカーで保管している。	昔より意識が下がっているとは思う
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		話だけではなく、プリントも活用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	定期的にイベントを開催しています。 地域の方が参加できるあそび博を今年度開催した。	できていない。もう少し地域にひらかれた校舎にしていきたい
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		計画的に実施しています。	家族への周知は全然できていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月、テーマをかえて、防災訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様に聞き取りをしています。	担当以外はちゃんと把握できていないので、一覧表を作るなどした方がいいと思う
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様に聞き取りをしています。 日常的に食べ物は提供していない。	医師の診断書、全然把握していない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画的に実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者様へのフィードバックの時間を確保しています。	周知は不十分
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		インシデントレポートを活用しています。 報告書を作成し、共有を行っている。	

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		計画的に実施しています。 虐待防止の研修を定期的に受けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		実施できています。	